



Uwasamon うわさもん。

益城の若もんも、がまだしょっぱい！

町でうわさの若者を紹介。

夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

書道

名前 ^{う え す ぎ} ^{じゅん}
上杉 純 さん (15)

行政区 **馬水北**

益城中学校 3年生

第31回全日本学生選抜書道展／文部科学大臣賞受賞(H24. 1)

平成26年度JAくまもと書道コンクール／NHK熊本放送局局長賞受賞(H26.11)



「4歳のころ、姉の通っている書道塾と一緒に通い始めました。もう11年になります。習い事として始めた書道に魅力を感じず、途中でやめたいと思ったこともありましたが、今は違います。とにかく楽しいんです」と話すのは、益城中学校3年の上杉純さんだ。

「書道に魅力を感じ始めたのは小学6年生のとき、全日本学生選抜書道展(日本書道教育学会主催)に出展したら、頂点の文部科学大臣賞を受賞したんです。母と一緒に受賞式で喜びあいました。書には、自分の思いや、気持ちが表われるんです。筆を操り墨の濃淡、筆圧やリズムが一つになって、いろいろな表現ができるんですよ」と楽しそうに話す純さん。

「翔(かける)」(上写真)の一筆には「今年は、私にとって大事な節目の年になります。困難を乗り越えて、大きく羽ばたいていく第一歩にしたいです」という純さんの大きな思いが込められている。

「今年は受験の年。芸術コースのある高校に合格できるように、受験勉強のまっただ中です。志望校に入学したら、切磋琢磨しながら更にいろいろな書を学びたい」と話す純さんは、自分の進む路をしっかりと思い描いている。

「将来は、大河ドラマの題字を書く書家になりたいんです。ドラマのイメージを題字に表現するんです。そのためにも、もっともっと自分の感性を磨いて、自分だけの書を見つけ出したいんです」と真剣に夢を語る純さんは、自分の可能性を探りながら、今日も夢に挑戦し続ける。